

市民の小さな声を市政に反映！ 令和5年度の広聴結果を報告します

大府市は、市民のみなさんが市政に対して意見やアイデアを伝えることができる開かれた広聴体制を整え、市民の声を市政に反映させる取り組みを着実に進めてきました。

令和2年4月から、コロナ禍で市長が市民と直接コミュニケーションを図る機会が減ったことや、感染症対策に関する問い合わせが急増したことらから、市民の声に迅速かつ丁寧に対応するツールとして「市長へのメール」を開始しました。

市長への手紙・メールに寄せられた声は、市長が全内容を確認し、必要に応じて現地視察を積極的に行い、相手方への回答を作成しています。令和5年度中に寄せられた主な声と市の対応について報告するとともに、事業化した内容の一部は、広報おおぶ6月号に掲載します。

■大府市の広聴機能の概要

大府市に寄せられた「市長への手紙」「市長へのメール」について収受し、おおむね1カ月以内に相手方に回答します。令和5年度中に市民から寄せられた声（368通・452件）の主な内容と市の対応は、以下のとおりです。

市民の声	市の対応
横須賀市が行っている「わたしの終活登録」制度を作ってほしい。【70代】	市独自のエンディングノート「さくらノート」を作成された方が、何らかの理由で意思表示が困難又は亡くなった場合に、ノートの保管場所や記載されている内容が分からなくなる事態を防ぐため、令和5年10月2日から終活登録「わたしのさくら登録」制度を開始しました。
帯状疱疹ワクチンの助成金額の増額をお願いします。 現状の3000円では、他市町と比較しても不足しています。 【60代ほか】	令和6年4月1日から50歳以上の方に対して、シングリックス（筋肉内に2回接種する、生ワクチンではない遺伝子組換え型アジュバント添加サブユニットワクチン）1万円×2回、ビケン（乾燥弱毒生水痘ワクチン『ビケン』は水痘ウイルス毒性を弱めた生ワクチン）4千円×1回に助成金額を拡充しました。
天候を問わず、幼児から小学生までダイナミックに身体を動かせる屋内施設や遊具がほしいです。 【30代ほか】	他市町の状況を踏まえて屋内施設の調査研究を進めています。令和5年11月からこどもの体力や運動能力の向上を目的として、児童（老人福祉）センターに新たな室内運動遊具を巡回で設置しました。室内運動遊具は、跳んだり・転がったりすることで、楽しみながら体力向上を図ることができます。

市民の声	市の対応
国立長寿医療センターに通院しています。ふれあいバスの発着を増やしてほしいです。 【80代ほか】	令和5年10月1日に、買い物や通院支援の強化を目的に、中央コースに1台増車し、東コースにおいては、国立長寿医療研究センターへの乗り入れを新設するなど、路線改正と利便性の向上に取り組みました。
自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の年齢制限を撤廃してほしい。 【30代】	令和6年4月1日から、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の対象者における年齢制限を撤廃しました。
スケボーができる場所がありません。どこでやっても怒られてしまいます。スケボーができる場所がほしいです。 【10代ほか】	大東小学校のプールを転用し、スケートボードパークを整備する予定です。

■参考：「市長への手紙」「市長へのメール」の受付数

実績	令和2年度 ※	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市長への手紙	131通・214件	158通・197件	217通・300件	140通・169件
市長へのメール	307通・385件	261通・308件	269通・372件	228通・283件
合計	438通・599件	419通・505件	486通・672件	368通・452件

※令和2年度の「市長へのメール」の実績は、制度開始前に市公式ウェブサイト開設していた「おたより箱」の実績を含みます。

【問い合わせ先】

大府市企画広報戦略課

担当：小林彰子（コバヤシ・アキコ）

電話：0562-45-6214 FAX：0562-48-4808 メール：koho-obu@ma.medias.ne.jp